

兵庫県スポーツ推進計画の概要図

1 社会情勢の変化

*社会経済情勢の変化等によるスポーツの果たすべき役割の多様化と期待の高まり

- (1) 少子高齢化の進展
- (2) 生活様式の変化
- (3) 地域社会の変化
- (4) グローバル化の進展

課題

- ・基礎体力の低下や対人関係能力の低下
- ・高齢者向けスポーツの多様化
- ・青少年の健全育成
- ・地域コミュニティの再構築
- ・国内外で活躍する人材の育成

2 スポーツ振興の流れと現状

1 国におけるスポーツ振興の流れ

- (1) スポーツ振興基本計画(平成13年度～22年度)
 - ・スポーツ振興を通じた子どもの体力の向上
 - ・地域におけるスポーツ環境の整備充実
 - ・国際競技力の総合的な向上
- (2) スポーツ立国戦略(平成22年度)
 - ・人「する・観る・支える(育てる)人」の重視
 - ・スポーツ資源の連携・協働の推進
- (3) スポーツ基本法(平成23年度)
 - ・スポーツの基本理念の明記
 - ・スポーツ推進に係る国、県の責務及びプロスポーツ、障害者スポーツについて明記
- (4) スポーツ基本計画(平成24年度～33年度)
 - ・子どものスポーツ機会の充実
 - ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
 - ・障害のある人のニーズに応じたスポーツ環境の整備
 - ・国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備等

2 本県におけるスポーツ振興の流れ

- (1) 兵庫県生涯スポーツ振興計画(平成13年度～22年度)
 - ・国の「スポーツ振興基本計画」を参照して策定
 - ・県民だれもが「いつでも、どこでも、気軽に」スポーツに親しめる環境づくり
- (2) 兵庫県スポーツ振興行動プログラム(平成19年度～23年度)
 - ・のじぎく兵庫国体(H18)による県民の「参画と協働」意識の高まりと高い競技力の維持
 - ・生涯スポーツ、競技スポーツ、障害者スポーツの3本柱と10の具体的行動によるスポーツ振興

3 本県の現状 (○:成果、△:課題)

- (1) 子どもの体力
 - 中高生の体力が向上
 - △小学生の体力が全国平均より低水準
 - △武道必修化に伴う指導体制のさらなる充実
 - △運動部活動の指導者不足
- (2) 成人のスポーツ
 - 成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上
 - △50歳代のスポーツ実施率の低迷
 - △指導者やスポーツボランティアの不足
- (3) 競技スポーツ
 - 国内外で活躍する兵庫県ゆかりの選手の増加
 - △アスリート育成からセカンドキャリアまでの支援環境の未整備
- (4) 障害者のスポーツ
 - 障害者サポーター登録数の増加
 - △市町における障害者スポーツ振興組織の不足
 - △障害者スポーツへの理解不足
 - △障害者スポーツ施設の不足
- (5) スポーツ環境
 - 国内外のトップスポーツ大会開催数の増加
 - △身近なスポーツ施設の不足(学校開放の促進)
 - △体育施設の老朽化の進行

スポーツ推進計画(平成24～33年度)

1 基本理念

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化の確立

一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現

○「する・みる・ささえる」スポーツの環境づくりの推進

- ・だれもが様々な形態(する・みる・ささえる)でスポーツに参画できる環境の整備

○地域スポーツとトップスポーツの連携・協働による好循環の創出

- ・様々な主体(スポーツクラブ21ひょうご、大学、企業等)が有する資源(人、施設、医・科学情報等)を活用しあい、相乗効果を図る

2 推進施策の重点目標

重点目標 1 スポーツをする子どもの増加と体力の向上

子どもたちが豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を培い、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の育成を図る

- (1) 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進
- (2) 学校の体育に関する活動の充実
- (3) 子どもを取り巻くスポーツ環境の充実

重点目標 2 成人のスポーツ実施者の増加

誰もが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢に応じて、いつでもどこでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツを普及する

- (1) ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進
- (2) コミュニティの中心となるスポーツクラブ21ひょうごの推進
- (3) 地域のスポーツ指導者等の充実
- (4) スポーツボランティアの養成

重点目標 3 競技力レベルの向上

本県のスポーツ選手の活躍を支援し、兵庫県ゆかりの選手の活躍により、県民に夢と感動を与え、県民のスポーツへの関心を高める

- (1) ジュニア期からトップレベルまでの一貫指導体制の強化
- (2) 質の高い指導者養成の促進
- (3) トップアスリートを支える基盤づくり
- (4) スポーツ団体のガバナンス強化とドーピング防止

重点目標 4 障害のある人のスポーツ参加者の増加

障害のある人が、スポーツを通じて、自らの能力を最大限に発揮し、個性豊かに生きることができるユニバーサル社会の実現を目指す

- (1) 障害者スポーツのすそ野拡大
- (2) 障害者スポーツを支える施設環境の整備
- (3) 障害者スポーツ選手の育成・強化
- (4) 障害者スポーツへの理解向上

重点目標 5 手軽に参加できるスポーツ環境の整備

行政、NPO法人、大学等、企業の連携・協働による手軽に参加できるスポーツ環境の整備を推進する

- (1) 地域スポーツとトップスポーツの連携・協働の推進
- (2) 地域スポーツと企業・大学等との連携
- (3) 地域スポーツ施設の充実
- (4) 国際競技大会等の招致・開催等
- (5) スポーツツーリズムの推進

「兵庫県スポーツ振興行動プログラム」を改定し、本計画に基づく実施計画(H24～H33)を策定

- ・今後10年間の数値目標とそれを達成するための取組
- ・毎年度評価・検証を行い、達成状況を見て施策を検討

県民が一体となった本計画の総合的推進

- ・県における全庁的推進体制
- ・市町との連携
- ・学校との連携
- ・スポーツに関するNPOや団体等との連携